

『 渋沢栄一翁外伝 』

はじめに

今年の7月には新紙幣が発行されました。千円札には北里柴三郎さん、5千円札には津田梅子さん、そして一万円札は渋沢栄一さんが採用され、当方はその渋沢栄一さんが創立した第一銀行に入行できました。「日本近代資本主義の父」といわれている渋沢栄一翁のその業績の概要や、当方の職場等でご縁があったこと等について、発表させていただきます。

1. 渋沢栄一の生涯

渋沢栄一は、江戸時代末期の天保11年（1840）2月13日に武州血洗島（埼玉県深谷市）に百姓（豪農身分）として誕生。

初め幕府に仕え、明治維新後、大蔵省に出仕。辞職後第一国立銀行を経営、製紙・紡績・保険・運輸・鉄道など、多くの企業設立に関与、財界の大御所として活躍。

引退後は社会事業・教育等にも尽力。
昭和6年（1931）11月11日逝去。
享年91歳。



渋沢栄一(1922年)

2. その業績は……………。

渋沢栄一は、関わった会社は500社余と言われますが、それらの企業を造ったわけではありません。自ら設立する事もあれば、設立する人に助言したり、資金や人材を集めるのを助けたり、時には揉め事の仲裁したりした結果、関わった会社等が約500社あったという事の様です。

信念は「良い運は、良い人のご縁から～」だとしています。
生家は畑作、養蚕、藍問屋等を手掛けていた農家であったものの、幼い頃から勉強好きで、7歳で『論語』を習得したと言われています。

渋沢栄一が人生を野太いものとしたのは、一つは農民として生まれであったこと。もう一つは恵まれた教育環境であったこととして伝わっています。

ただし、勉強ばかりしていたわけではありません。剣道や心身を鍛え、14歳の頃には藍葉商人として大人顔負け目利きとなって、注目されたのです。

三菱財閥を創業した岩崎弥太郎は、大久保利通や大隈重信と結び、政府の手厚い保護を受けて海運業における独占を確立した。

財閥の実業家は、ほとんど会社の株式を公開せず、財閥という閉じられたネットワークで、株を持ち合っていました。そして実際、経営は「専門経営者達」に任せ、一族の一人がトップに君臨する閉鎖的な経営をしていました。

一方、渋沢栄一は関わった企業の多くは株式会社の形態をとり、少額でも広く民間から出資を募り、会社を大きくする方向性で推進したのです。

そして、これらの企業を渋沢一族で固め、自分のカラーを濃く出すことをしませんでした。一貫して開放的な経営を続けていたのです。

3. どんな企業や団体に関与したのか……………。

各業種別に主要企業・団体等について記載します。

(渋沢栄一記念財団の『社史プロジェクト』を参考に社名を挙げました。

金融機関は103団体、実業団等は団体422団体、社会公共事業は189団体あり、主な企業名・団体名を掲出しました)。

① 金融

第一国立銀行 (→第一銀行) 三井銀行 横浜正金銀行 (→東京銀行)
八十四銀行 北海道拓殖銀行 日本銀行
東京海上火災保険 明治火災保険 ……………

② 交通・通信

日本郵船 北海道炭鉱鉄道 両毛鉄道 総武鉄道 東京地下鉄道
京北鉄道 日本航空輸送 ……………

③ 商工業

鐘淵紡績 大阪紡績 富岡製糸場 王子製紙 東京毛織物
日本精糖 明治製糖 日本精糖 浅野セメント 東京精糖
日本鋼管 東洋製鐵 石川播磨造船所 理化学研究所
東京瓦斯 北海道瓦斯 大阪瓦斯 東京電力 荒川水力電気
名古屋電力 日本土木 東京株式取引所 渋沢倉庫 王子倉庫
帝国ホテル 日露貿易 ……………

④ 鉱業

足尾鉱山組合 北越石油 ……………

- ⑤ 農林水産
 - 十勝開墾 日本水産 御木本真珠 ………
- ⑥ 対外事業
 - 韓国銀行 京仁鐵道 朝鮮中央鐵道 韓国水力電気
 - 南満州鐵道 中国興行 中日実業 ………
- ⑦ 経済団体
 - 東京商業会議所 日本興業倶楽部 東京商工会 ………
- ⑧ 社会事業等
 - 社会事業協会 滝乃川学園 愛の家 日本赤十字社
 - 東京慈恵会 聖路加国際病院 救世軍病院
 - 日本結核予防協会 東京府立松沢病院
 - 明治神宮奉賛会 寛永寺 浅草寺 救世軍 ……
- ⑨ 教育
 - 東京大学 一橋大学 東京女学館 共立女子職業学校
 - 二松学舎 跡見高等女学校 早稲田大学 法政大学
 - 青山学院 同志社大学 国学院大学 慶応義塾大学 ………
- ⑩ 文化事業ほか
 - 東京地学会 日本美術協会 癌研究会 実業之日本
 - 帝国劇場 日本放送協会 東京会議所

4. 栄一翁を主人公としたテレビを放映……………。

渋沢栄一に関するテレビ番組が放映されたが、主なものは下記の通りです。

- (1) 『雲を翔びこせ』 1978年 TBS (主演・西田敏行)
- (2) 『雄気堂々』 1981年 NHK (主演・滝田栄)
- (3) 『青天を衝け』 2021年 NHK大河 (主演・吉沢亮)

5. 栄一翁の子孫の有名人が判明……………。

この度の新しい紙幣発行で渋沢栄一が採用されたことにより、栄一翁の子孫である有名人が判明し、話題となっています。

- 尾上松也 (歌舞伎役者)
- dã i g O (タレント、歌手、竹下茂元総理大臣の孫)
- 渋沢莉絵留 (女子プロゴルファー)

6. 第一銀行に入行して、渋沢栄一翁とのご縁が生まれた…。

(1) 下駄を履いて銀行へ……。

私は都立高校を卒業して、第一銀行に入行しました。

高校3年生の夏休みに、下駄を履いて学校に行きましたが、職員室の前を通った時に、職員室から職業指導担当の先生に呼び留められ、「これから、第一銀行の本店に行ってこい」と言われたが、「第一銀行って何ですか」と聞くと、先生は「日本で最も歴史のある渋沢栄一が創業した銀行だよ」とのこと。

ただ下駄を履いて行くのはどうだろうかと躊躇していたら、「いいから行ってこい」とのことで、そのまま、電車に乗り、東京駅丸の内北口から徒歩4～5分程の第一銀行本店に到着しました。

5階の人事部に案内され、すぐに面接が始まったのですが、面接官は私の足元を見ながら、「この銀行に下駄で来た人は、君が初めてだよ」と笑われたのです。その後、「君は学校で何をしているの？」と問われ、編集委員会で、「高校新聞を作っています。そして、高校新聞では日本で初めて縮刷版を作成して、朝日新聞・毎日新聞にも掲載されました」と応えて、電車賃を頂き、自宅に帰りました。

翌日、第一銀行から「内定しました」との電報が届き、両親も大喜びでした。

(2) 第一銀行に入行して9年目、昭和46年に日本勧業銀行と合併し、第一勧業銀行となりました。

(3) 当会に入会した動機は、渋沢栄一さんとのご縁から……。

私が35歳の時に広島支店に転勤になり、地元では、『古河会』という懇談会があり、古河電工等の関係会社や朝日生命等々、渋沢栄一が創業に関わった団体の集まりで、幹事は第一勧銀と決まっております、ゴルフやパーティを開催しておりました。3年後に転勤で横浜に戻りましたが、10年後、前記の朝日生命の安藤俊輔さんより、電話を頂き「横浜歴史研究会という処に入会したが、会長は元第一勧銀の方で、なかなか良い会だから、一緒に行きませんか」とのことで、私は48歳の時に入会した次第です。それから32年経ちました。

(4) その以前のことで、銀行で検査部に居た時に、田園調布出張所開設の所長として辞令を頂きました。その後、人事部に寄ったら、「田園調布の街造りは渋沢栄一さんが企画したものであり、貴方が第一銀行出身なので、白羽の矢が当たったのですよ」と言われました。

いざ、田園調布に降り立つと、緑が多く、整備されたもので、町内会は日本で唯一の社団法人・田園調布会であり、家を建てる場合は、建物の高さ、緑の量等々をチェックしなければ、建築確認が出せない仕組みとなっていました。

(5) そして渋沢栄一さんの子孫の方と出逢い、昵懇の間柄となることができました。その方は、別添の「渋沢栄一系図」の右側、栄一の子・渋沢秀雄の長男の渋沢一雄さんです。

一雄さんは来店して、応接室で話す場合、祖父の栄一さんのことを、必ず「栄一翁」と言われるので、当方もつられて、「栄一翁」と呼ぶようになりました。参考文献の『澁澤栄一 一業一伝』は一雄さんより頂いたものです。

一雄さんは70歳台でしたが、奥様が亡くなられました(後添えの方です)。葬儀を済ませて、3ヶ月余で、また再婚されました。

(6) 田園調布には、著名な方々が住まわれていますが、栄一翁が創業に関わった帝国ホテルの社長の犬丸さんご夫婦もおられました。奥様が来店されると「あのホテルは渋沢さんにお世話になったので、第一銀行には足を向けて寝られません」と云われました。

いろいろや支店や本部にも転勤で巡りましたが、田園調布は思い出多い場所となりました。

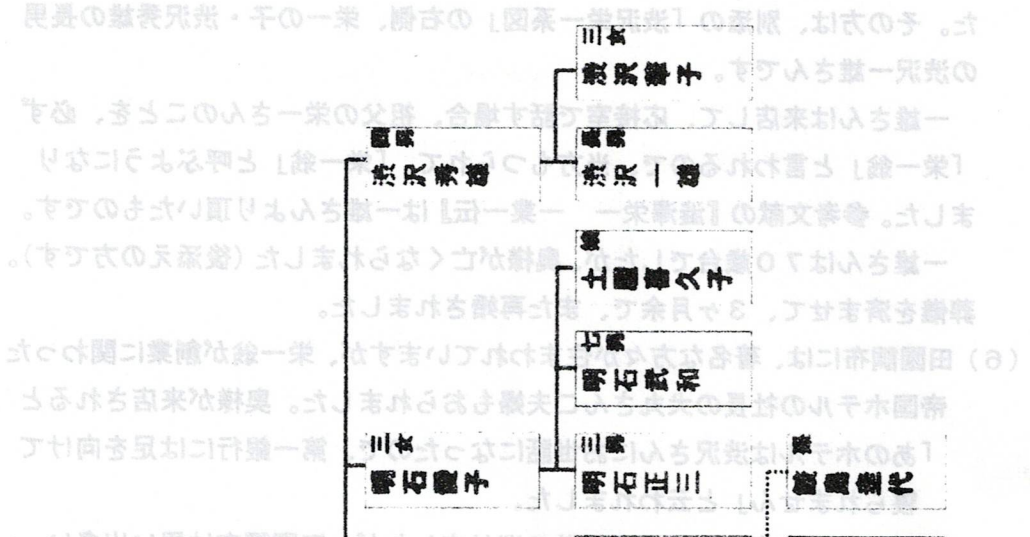
(完)

【参考文献】

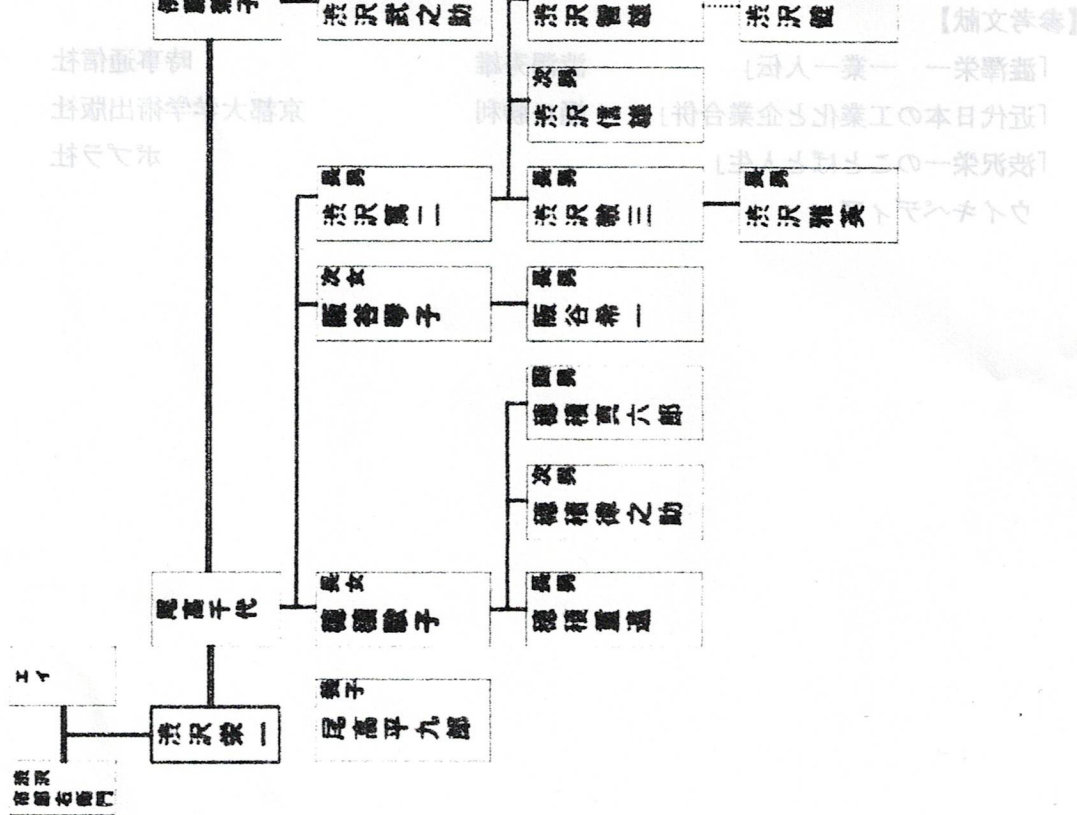
- 「澁澤栄一 一業一人伝」 澁澤秀雄
- 「近代日本の工業化と企業合併」 樋口勝利
- 「渋沢栄一のことばと人生」
- ウィキペディア

- 時事通信社
- 京都大学学術出版社
- ポプラ社

「お母様はなまこみはと神田の御門、お父様はなまこみの御門の御門、お母様はなまこみはと神田の御門、お父様はなまこみの御門」



(男)



【補文學録】